

メッセージ

鹿児島県理学療法士連盟副会長 平名章二

連盟会員の皆さん、こんにちは。

鹿児島県理学療法士連盟副会長 平名 章二です。

まずは新型コロナ禍で生活に大きな支障を来たされた会員及び県民の皆様にお見舞い申し上げます。さてこの新型コロナでの政治対応では特措法での検査・診療や従事者への慰労金支給、医療機関への補助給付などの政治決断がなされたことはご存じかと思えます。これは現場からの声により国政の場で決定され実行へと移されています。医療介護の世界では政治力学的に医師・歯科医師・看護師が発信するメッセージが取り上げられることが多く、理学療法士

の声はまだまだ小さいのが現状です。呼吸リハビリなどのICUリハに励み新型コロナに立ち向かう仲間たちの姿もFOCUSしてほしいですし、理学療法士からの声を政治に届かせるためにも理学療法士自身が政治活動に対してFOCUSすることがますます必要だと言えます。

社会の中で必要とされる“政治”“選挙”に真摯に向き合っていく。それが連盟活動です。

多くの声を届けたい！！これからもご理解・ご協力を宜しくお願い致します。



鹿児島県理学療法士連盟 副会長
平名章二

皆で学ぼう！政治とは何か？

今回は「民主主義とは」について考えてみます

憲政史上最長の連続在任期間2822日となった第二次安倍内閣も安倍晋三元内閣総理大臣の突然の辞意によって終わり、新しく自由民主党総裁となった菅義偉氏が第99代内閣総理大臣に指名され、新たな内閣がスタートしました。菅義偉内閣総理大臣は、前内閣を踏襲するような発言もありましたが、種々の問題に逃げることなく、覚悟を持って国民のために働いて頂くことを期待してなりません。

さて、このように内閣に対しても支持やあるいは批判を自由に話せるのは、我が国が民主主義であるからにはほかありません。我が国は「国民の声を平等に反映させる」民主主義なのです。では民主主義とは何か？

デモクラシー。これは民主主義の英訳です。この語源はギリシア語の

デモス（民衆）とクラティア（支配）だと言われています。つまり、民衆によって国を支配するということとなります。しかし国民（住民）全員で何かの物事を決めようとするのは困難。そこで、リーダー（代表者）を決めて、その方々が住民の声を代弁し、物事を決定するようになって



いったわけです。ジャーナリストの池上彰氏は「民主主義は政治家にあ

る種の独裁的な権力を与えることだ」と言っています。

どこかの国のように独裁的な指導者を変えるにはクーデターや革命を起こさなければ国は変わりませんが、民主主義は、独裁的な権力を与えた政治家の「政治」に満足できなければ、選挙でその権力を奪うことが可能です。

つまり民主主義は、試行錯誤の繰り返しだと考えられます。

自分たちのリーダー（代弁者）を選挙で選ぶ。そして任せる。その内容をチェックしていく。その内容が良かったものであれば、次の選挙でも選ぶ。悪かったものであれば、違う誰かに任せてみよう、選挙で投票しない。

つまり、このようなことが繰り返

されていくシステムが民主主義なのです。ですから、政治家は民衆に信頼されるように努め、民衆は政治家を信用せずに審判する姿勢でいることこそ、民主主義といえるのかもかもしれません。

民主主義は政治の失敗に民衆が気づき、その失敗を取り戻すようなリーダーを選ぶことのできるシステムです。

国のリーダーが変わり、衆議院解散そして選挙もささやかれています。

また鹿児島市にお住いの皆様は鹿児島市長選挙もあります。民主主義とは何か？この本質を考えながら投票をしたいものです。

（文責 広報部 有村）

覗いてみたい あの人の理学療法士的思考

今回はクオラリハビリテーション病院 赤崎知子先生に「理学療法士的思考」をご指南頂きます。

とあるTV番組ではありませんが、私は理学療法士として仕事をするとき1つのルールを決めています。それは、「患者さんの事で少しでも行き詰まったら、最低3人に相談する」ということです。

このルールができた経緯は話せば長いので割愛しますが、自分が理学療法士として患者さんのために取れる行動の一つとして出来上がってきました。

「経験の浅いうちは先輩に相談していたが、ある程度の経験年数になってくると抵抗を感じる」という方も少なくないと思います。しかし、そのプライドは理学療法士同士で持つべきものではないと私は考えます。ですので、相談相手は先輩とは限りません。後輩にもどんどん聞きます。最低3人に聞けば、似たような症例を経験していたり、自分には見えていなかった視点・考え方の意見が必ずと言っていいほど出てきます。

技術的なことを教えてもらうこともあります。これによって、タイムリーに自分にはない知識や考え方を取り入れ、素早く患者さんに還元するというルールです。

昔、恩師が言っていた「医師は生死を扱うが、理学療法士が扱うのは生の質である」という言葉の意味を最近はより深く感じるようになってきました。

これからも、患者さんのQOLに寄り添うために行動できる理学療法士でありたいと思います。



私たち連盟の役割は・・・

それは、「社会の中で必要とされる理学療法士」であるためには、知識や技術だけではなく、政治を含めた一般社会に広く働きかける、実践することです。一緒に連盟を盛り上げていきましょう。

会員募集！
下記のQRコードから



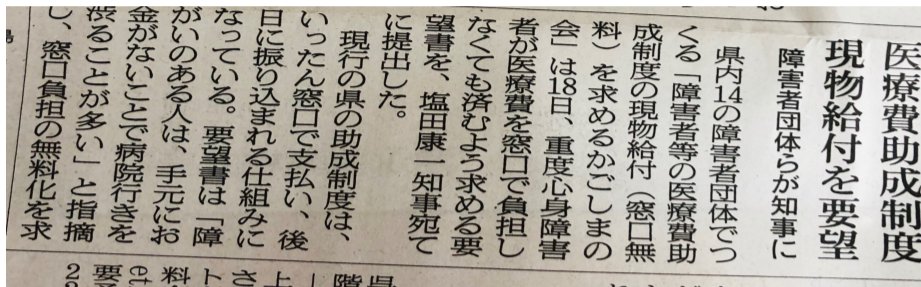
鹿児島県理学療法士連盟会員申込
鹿児島県理学療法士連盟会員申込
鹿児島県理学療法士連盟会員申込
鹿児島県理学療法士連盟会員申込
鹿児島県理学療法士連盟会員申込
鹿児島県理学療法士連盟会員申込

！！活動報告！！

重度心身障害者医療費助成制度（公費負担事業）の現物給付化（窓口無料）の経過報告

これまで我々は、重度心身障害者医療費助成制度の現物給付化に向けて他の共同団体と共に署名活動を行いました。（12,660筆8/18現在）また各市町村議会に対して県への意見書提出の陳情をお願いしてきました。とりわけ奄美市や南九州市は連盟会員の働きかけにより可決しております。その後8月18日県に対し14団体の要望書を提出。8月25日自由民主党鹿児島県支部連合会に対し県政に対する要望書を提出。9月9日議会事務局に14団体の要望として陳情書を提出しております。

重度心身障害者医療費助成制度を利用しリハビリを受けている方々の多くは、理学療法の対象者でもあることを肝に銘じて多くの会員の方々が活動に参加して頂き、県の政策を変えて一役を担って頂きたいです。これからも一歩でも前に進むことを願って活動を続けていきたいと思っています。（文責 事務局 赤崎）



この活動に関しては各新聞やニュースでも取り上げられております。



9月9日には会のメンバーが鹿児島県議会を訪れ、会派周りを実施。彼らの冷静かつ的確な発言は非常に同感させられ、この問題に対する彼らの熱意が伺えます。

日本理学療法士連盟の動向

私たち鹿児島県理学療法士連盟は、少しでも皆様に我々の活動がどのようなものか、ご理解頂くためにこのような広報紙の作成、またホームページやSNSを使っています。

では、私たちの本体である日本理学療法士連盟は現在、どのような状態であるのか、特に次期参議院選挙の動向等を、鹿児島県理学療法士連盟村山芳博会長にまとめていただきました。

2022年夏、理学療法士組織代表候補予定者選考状況

皆様がこの原稿を読まれているだろう10月上旬（正確には10月9日）、全国都道府県理学療法士連盟会長会議で、約1年9ヶ月後に予定されている参議院議員選挙で、私達を代表して戦ってくれる組織代表候補が決まる予定です。

ご存知のように、今現在の理学療法士組織代表候補として各方面に活躍頂いているのは、約4年前に皆様方からたくさんの応援を頂いた現参議院議員の『小川かつみ』氏です。

小川先生のHPをご覧頂ければ、この4年間、様々な分野で活動され、「理学療法士」という職種が行政・立法府に少しずつではありますが、啓発・浸透されている事がお分かりになると思います。

鹿児島・九州として、『小川かつみ』氏にこれからも頑張ってもらいたいと考えております。

10月11日の日本理学療法士協会臨時総会では、決定した方のご挨拶がある予定です。

また皆様1人1人のご理解・ご協力を宜しくお願い致します。

鹿児島県理学療法士連盟
会長 村山芳博

連盟恒例企画 リーダー塾のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の問題もありますが、我々は止まることはありません。研修会や会員交流も出来る範囲で再開していきます。その一つとしてこれまで、多方面から講師をお招きしてきた「リーダー塾」も再開します。

今回は、連盟青年局メンバーとして活躍中の岩森 俊・福永裕樹両会員に、最近注目されてきている「意思決定と行動に関する理論」の一つ「OODAループ」についてお話を頂きます。今回は講師の一人である岩森 俊氏にまとめて頂きました。

「よく考えてから行動しなさい」「思慮深い人になりなさい」

私たちは幼少の頃から、そう言われて育ってきました。もちろんそれは非常に大切なことですが、何かを決めたり、選んだりするときに確信が持てず、間違っているのではないかと他を選択肢があるのではないかと考えを巡らせてしまう。

きっと皆様も日々の臨床場面や日常生活の中でそのような経験があり、それと同時に「念入りに考えたことが必ずしも良い結果に繋がるわけではない」という苦い経験もあるでしょう。もちろん時間に余裕があり判断に必要な情報をいくらでも収集できるのなら、それに越したことはありませんが、現実的にそのような余裕のあるケースは少ないと思います。

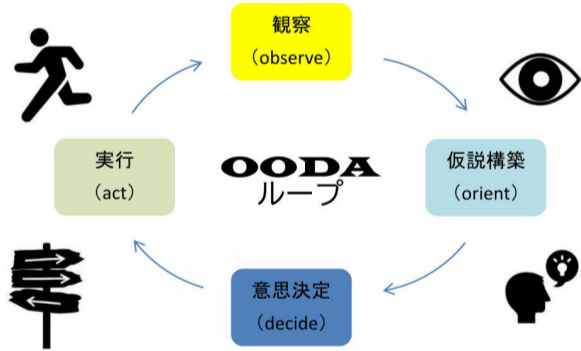
周囲の状況や前提条件が目まぐるしく変わる今（社会情勢、政治、コロナ禍もそう）に適応し、勝ち残っていくために必要なものが「速さ」であり、OODAループは、この時代に合った最速の思考法であると感じています。このループは観察(observe)→仮説構築(orient)→意思決定(decide)→実行(act)の4つのプロセスの英語の略称で2021年5月に開催される第55回日本理学療法学会inおいたのキーワードの1つにもなっています。

皆様、臨床や生活場面で自分の思考法を持っており、それは経験を積み重ねるほど確実なものになると思います。その経験を更に活かすためにも、また経験の浅い方々も、様々な変化に素早く対応するためのスキルの1つとして、鹿児島県理学療法士連盟と一緒に、OODAループを学んでみませんか？今後、基礎編から連盟リーダー塾研修会を企画していく予定です。

よろしくお祈りいたします。

OODAループ(基礎編)

第9回鹿児島県理学療法士リーダー塾



- 【講師】 鹿児島県理学療法士連盟 青年局長 岩森 俊:老健グレースホーム リハビリ部長 認定理学療法士(管理・運営、介護予防)
- 【進行】 鹿児島県理学療法士連盟 青年副局長 福永 裕樹:老健ラ・フォンテいずみ リハビリ部長 認定理学療法士(管理・運営、地域)
- 【講義内容】『OODAループ』という言葉をご存じでしょうか？ OODAループとは、観察(observe)⇒仮説構築(orient)⇒意思決定(decide)⇒実行(act)の4つのプロセスの英語の略称で、2021年5月に開催される第55回日本理学療法学会inおいたのキーワードの1つにもなっております。不明確で常に変化していく状況の中で現状にあるものから最善の判断を下し、即座に行動を起こすことを目的としているこの工程は、コロナ禍でも非常に重要なスキルだと考えます。このリーダー塾でその基礎編から学んでみませんか？
- 【開催日時】令和2年10月30日(金) 19:00~20:00 研修会(質疑応答含む)
- 【開催方式】WEB開催となりますので、入金確認後、ID等をお送りいたします。
- 【参加資格】理学療法士協会会員のみ
- 【参加費・研修会費】連盟会員は無料(年会費2000円)
(連盟年会費の納入をお願いいたします。下のQRコードにて会員登録ができます。また、連盟会員は、今回の研修会参加者は裏面に案内されている令和2年第1回鹿児島県理学療法士連盟 研修会も無料で参加できます。)

～申込方法～
ステップ①連盟会員登録(QRコード)⇒ステップ②会費の入金⇒ステップ③本研修会申し込み(メール)
鹿児島県理学療法士連盟 青年局:福永 kagoshima.pt.renmei@gmail.com
件名:第9回鹿児島県理学療法士リーダー塾 必要事項:①氏名 ②勤務先 ③PT会員番号
締切(振込期限)令和2年10月23日(金)までお願いいたします。

鹿児島県
理学療法士連盟
入会申込はこちら➡



【振込先】 鹿児島銀行 大島支店 普通 3241466
【口座名義】 鹿児島県理学療法士連盟 会長 村山芳博
(振込手数料は会員負担となっております)

主催:鹿児島県理学療法士連盟 (公社)鹿児島県理学療法士協会

ホームページに掲載いたします！